

市川里美の世界

大垣市出身の絵本作家・市川里美さんを講師にお招きして、絵本制作のお話しをお聞きするギャラリートークとワークショップを開催します。



メリークリスマス
EI/メリ
R.B. ウィルソン／文
市川里美／画
BL出版

ワークショップ

「みんなで大きな絵を描こう」

テーマに沿った絵を参加者がそれぞれに描き、それらの絵を一枚の大きな用紙に貼り、1枚の大きな絵を完成させます。

日時：11月16日（土） 10:00～11:30

場所：大垣市立図書館 3階 会議室

対象：小学生のみ

定員：20人（無料：要申込/先着順）



ギャラリートーク

「世界の旅からうまれた絵本」

世界を旅する取材旅行を通じて経験した旅に関するおはなしや逸話、スケッチ画のお話しを聞きます。

日時：11月16日（土） 13:30～15:00

場所：大垣市立図書館 3階 会議室

対象：一般（小学生可）

定員：50人（無料：要申込/先着順）



大垣に伝わるむかしばなし④
『大工の祖神 聖徳太子さま』



今からおおよそ一〇〇年より前のことで

神仏にお詣りして、毎日の暮らしにいそしんでいる信心深い「おカト」さんというお婆さんがいました。

そのおカト婆さんは、自分の息子たちが大工職を稼業としていたので、立派な棟梁になってもらいたいと思っておりました。

あるとき、おカト婆さんは、京都のお寺まで出向いて大工の祖神（そしん）と伝えられる聖徳太子さまのお木像をお受けして、南徳寺に安置してお祀りしました。

昔から、友江の村（大垣市友江）には、お寺やお宮さんを建てる腕のよい大工たちが代々、住んでおりました。そして、稼業繁昌のために一生けん命働いておりました。

村の大工たちは、いつか聖徳太子さまをお祀りしたいと、かねがね思っていましたのでおカト婆さんの行動にみんな大喜びでした。

大工たちで話し合い、氏神さま（白髪神社）の境内に祠（ほくら）を建てて太子さまをお祀りしました。そのとき、花火を打ちあげて村中で、にぎやかにお祝いしました。

出典：『大垣むかし話100話』

大垣市企画広報課・編

『大垣むかし話100話』は、大垣市電子図書館でも読むことができます。